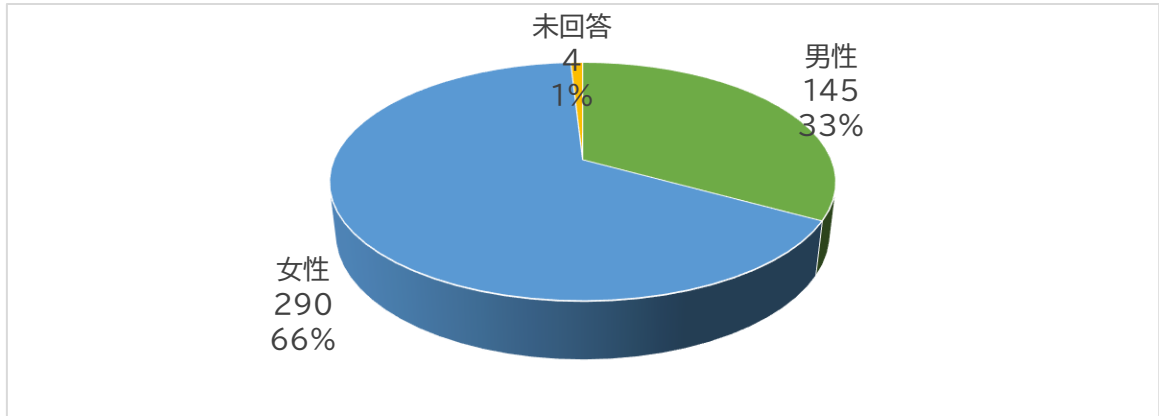


資料

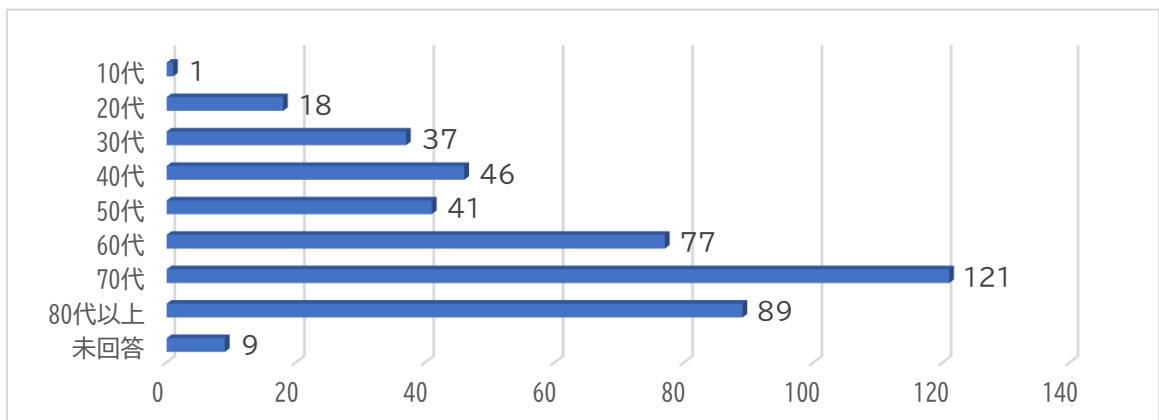
1 市民アンケート

調査対象	市内で活動する団体、福祉関係者及び利用者（令和5年6月実施）
回収数／配布数	439人／500人（87.8%）

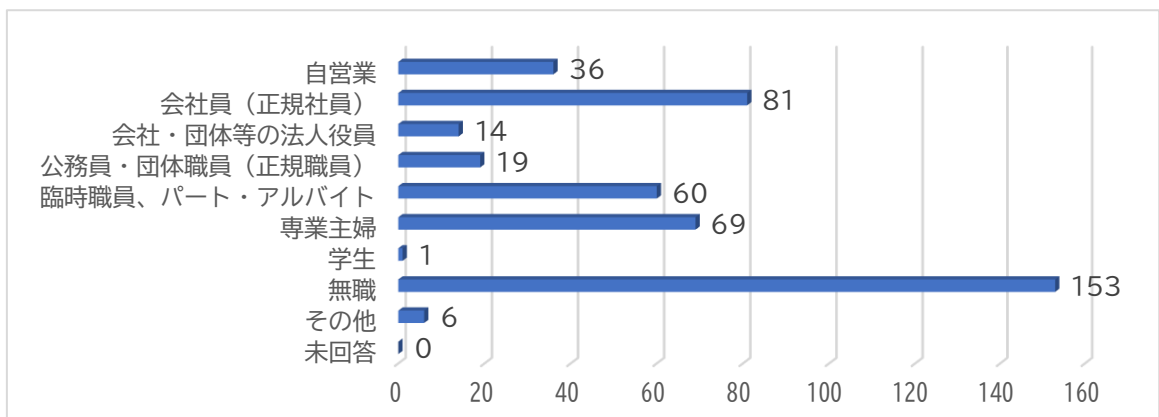
問1 【性別】



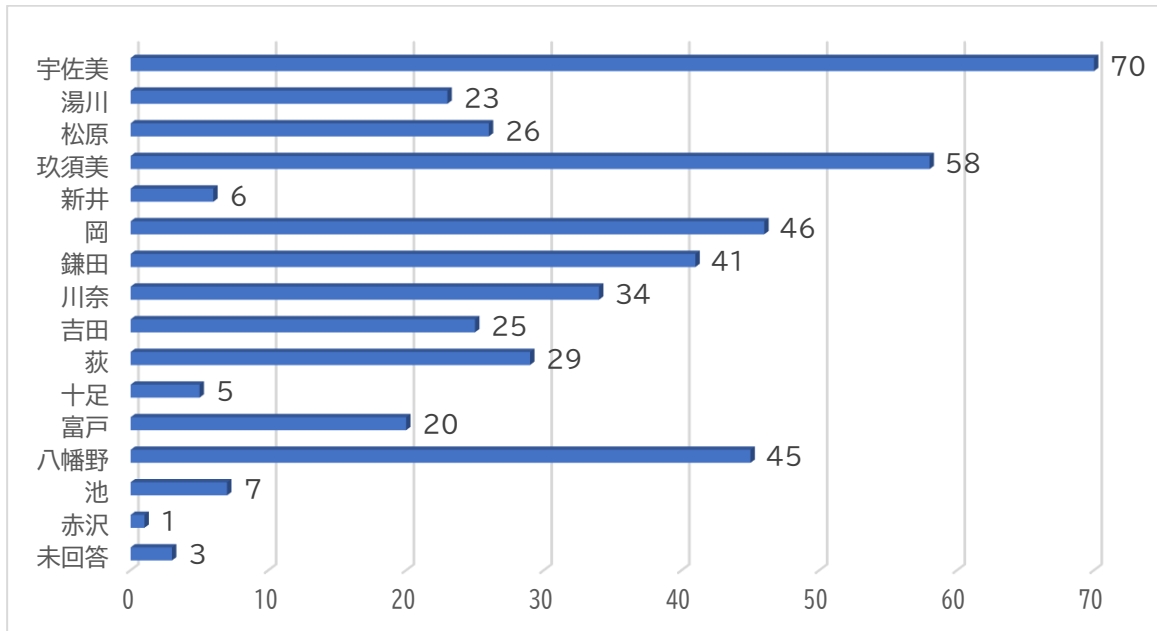
【年齢】



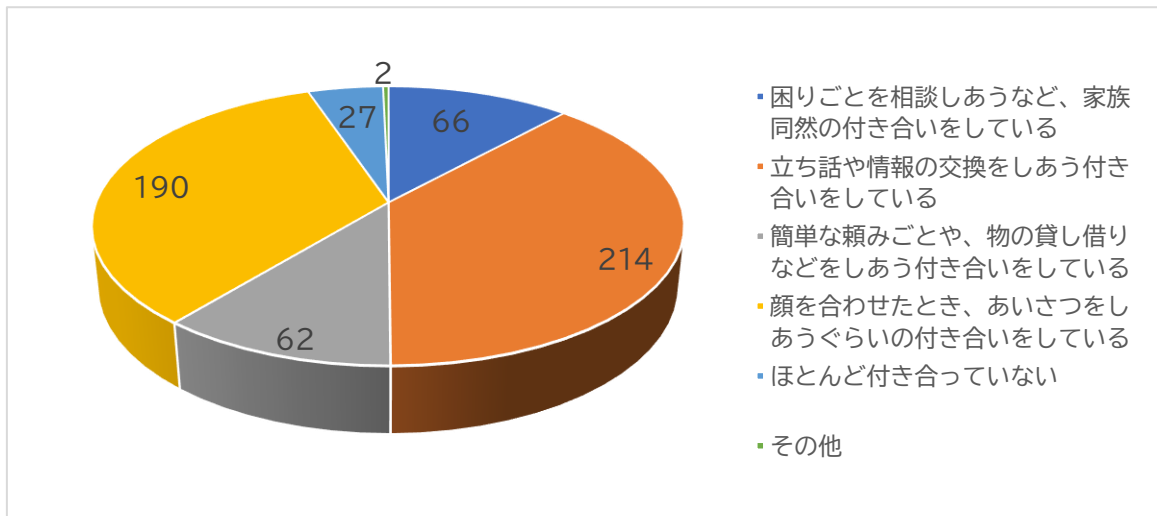
【職業】



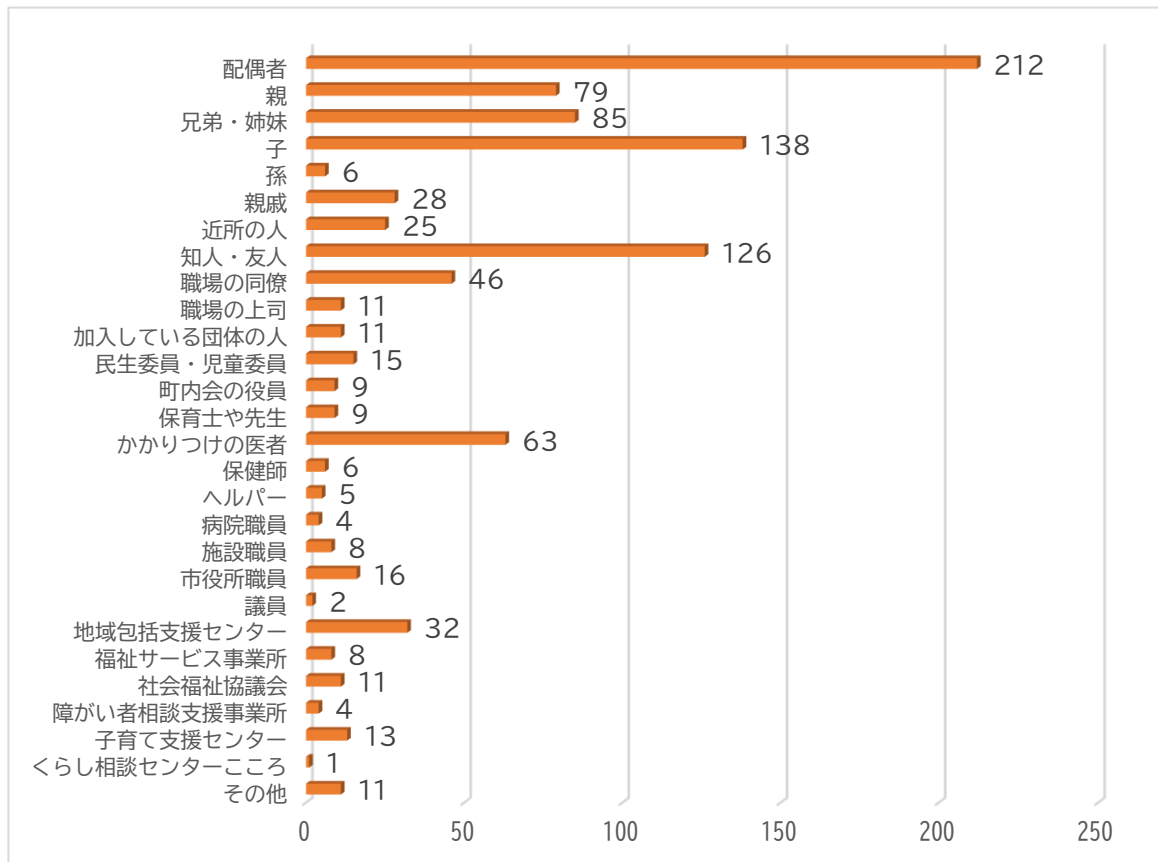
【住んでいる地区】



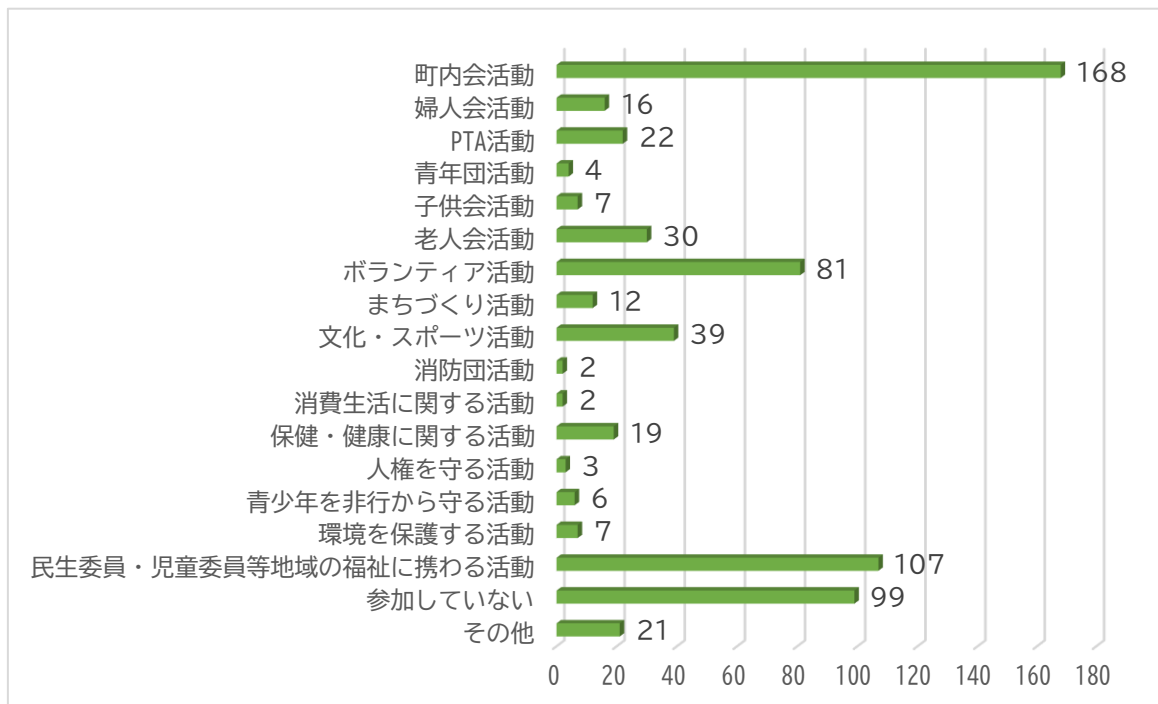
問2 あなたはご近所の方と、どの程度お付き合いがありますか。



問3 あなたは暮らしの問題や医療・福祉・教育などのことで、誰に相談しますか。



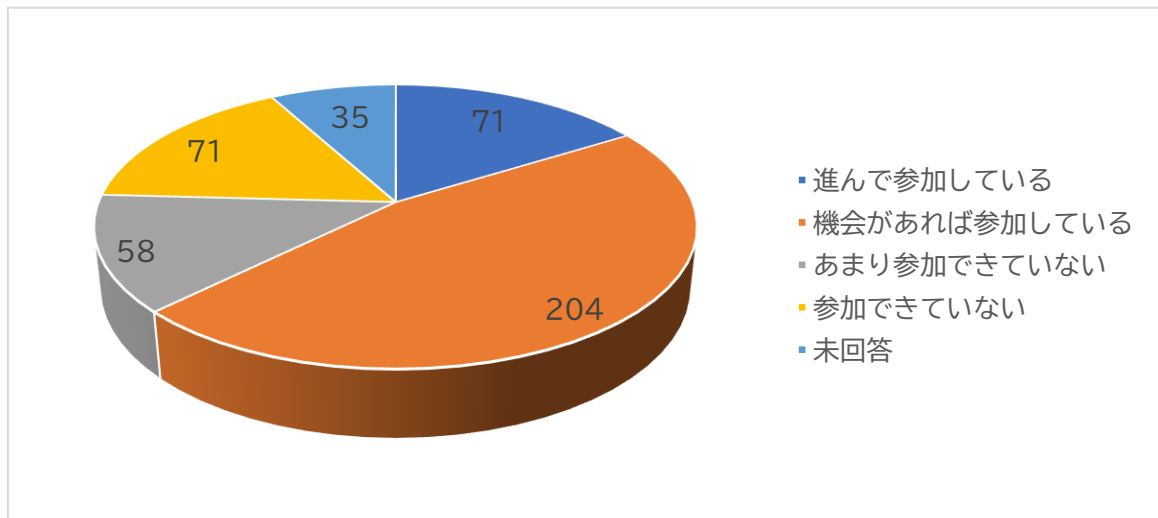
問4 あなたはどのような地域活動や学習、教養活動に参加していますか。



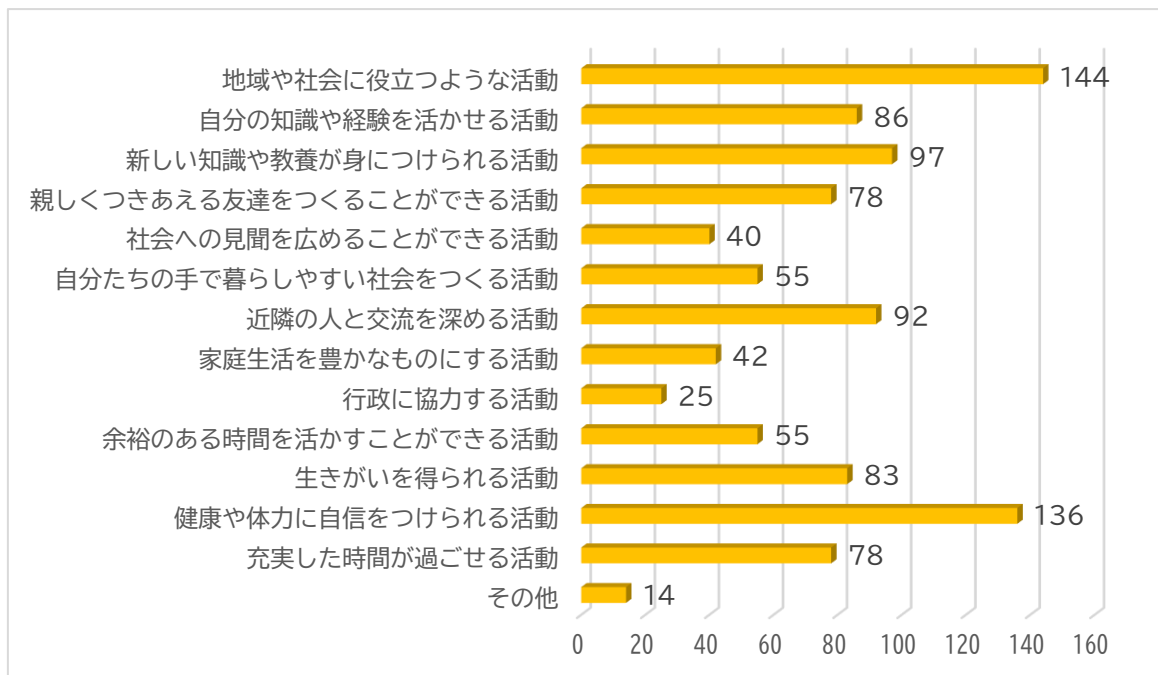
「その他」の意見

学校運営協議会、劇団、区議会議員、認知症カフェ、レザークラフト、絵画サークル

問5 あなたは地域の行事や活動にどのように参加していますか。



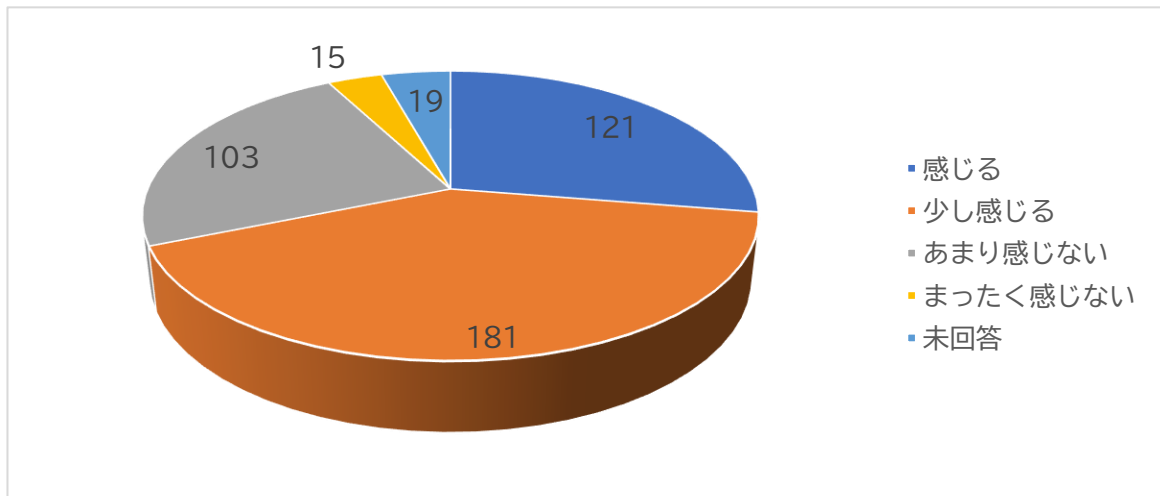
問6 あなたが実際に活動されるとすれば、どのような地域活動や学習・教養活動に参加したいと思いますか。



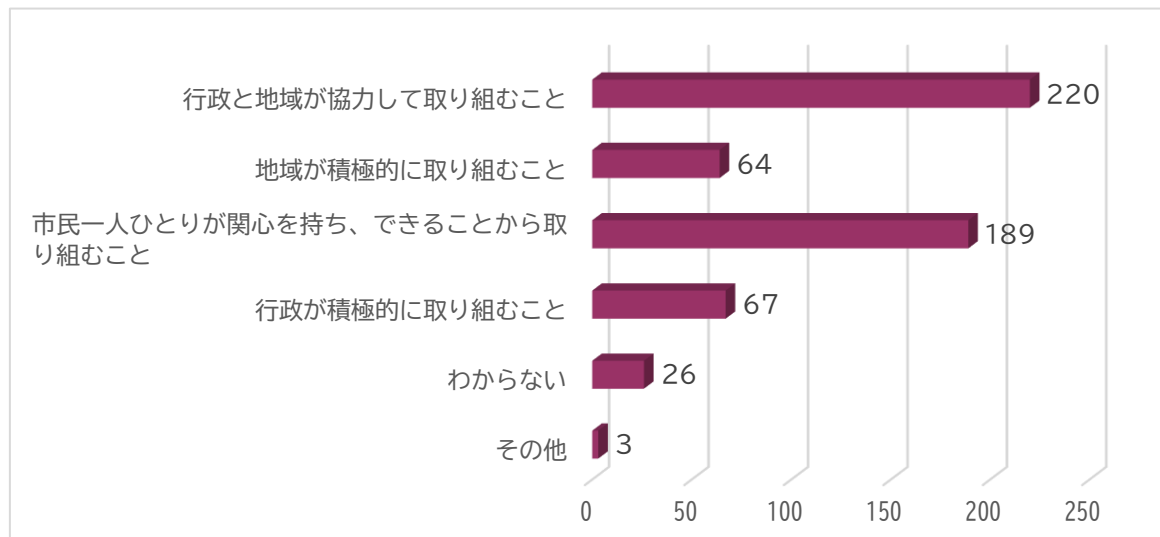
「その他」の意見

近隣の草刈り、子育て世代への応援

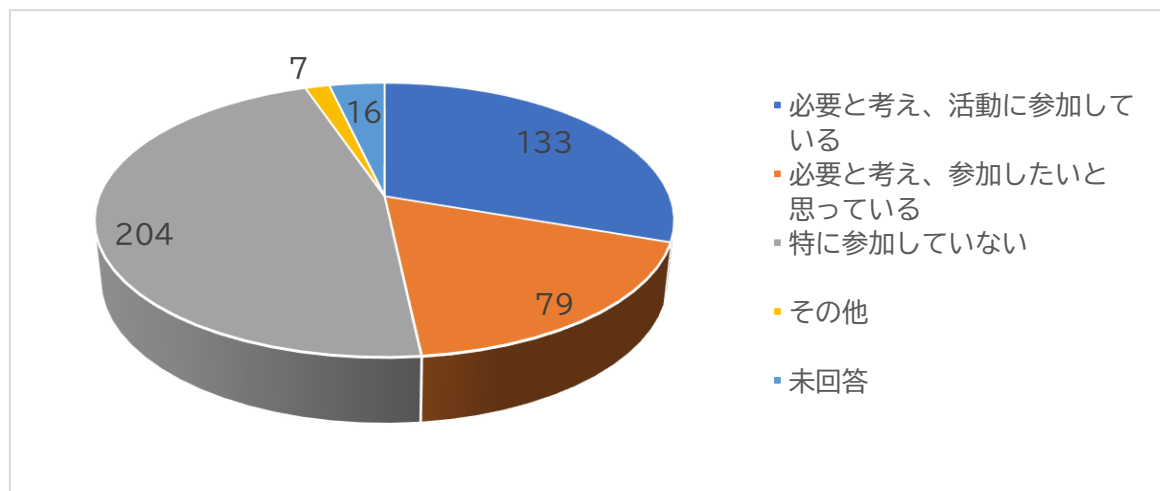
問7 あなたはご自分の地域について、何か誇りや愛着を感じますか。



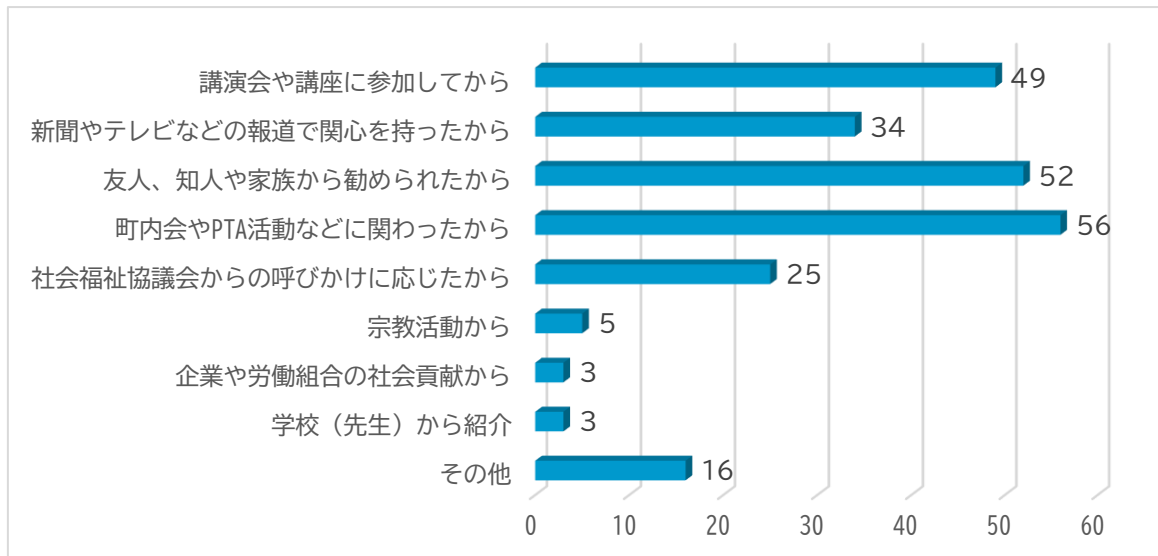
問8 地域福祉を進めるために、必要だと思われるものは何ですか。



問9 あなたはボランティア活動に参加していますか？



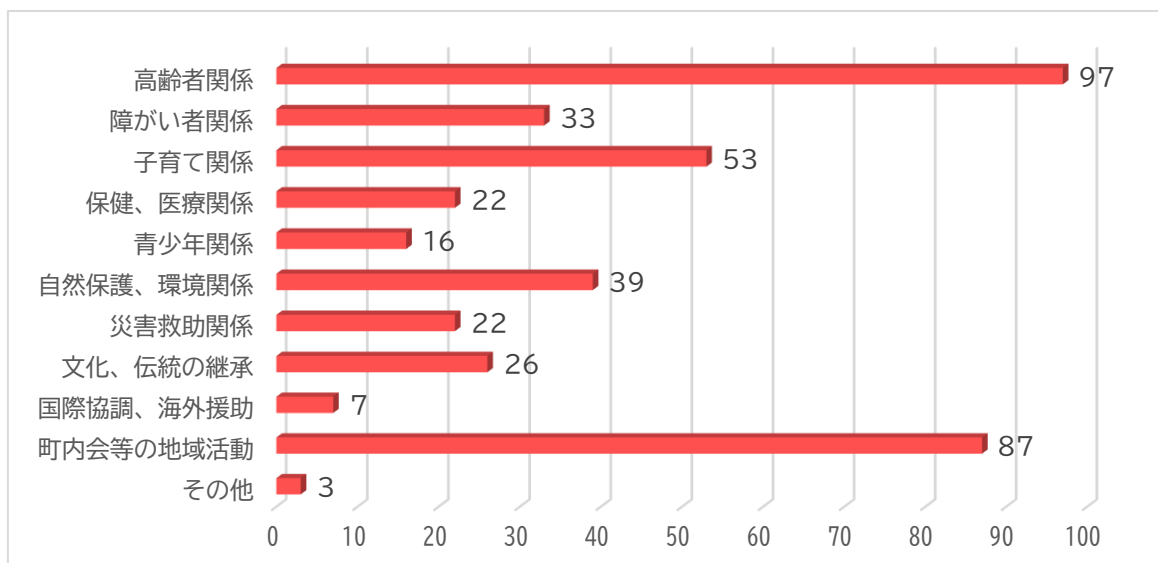
問 10 問 9 において「1 必要と考え、活動に参加している」を選択した方にお伺いいたします。参加するきっかけとしてあてはまるものを記入してください。



「その他」の意見

・自分で必要、大切と考えたから・興味から・機会があれば参加したい・広報・退職して時間ができたため人の役に立ちたい・子どもに健やかな心身でいてほしいと考えたところ、ボランティアの養成講座があった。自分の子供が持てないので地域の子供との関わり（子育てをする親）を経験したかった。

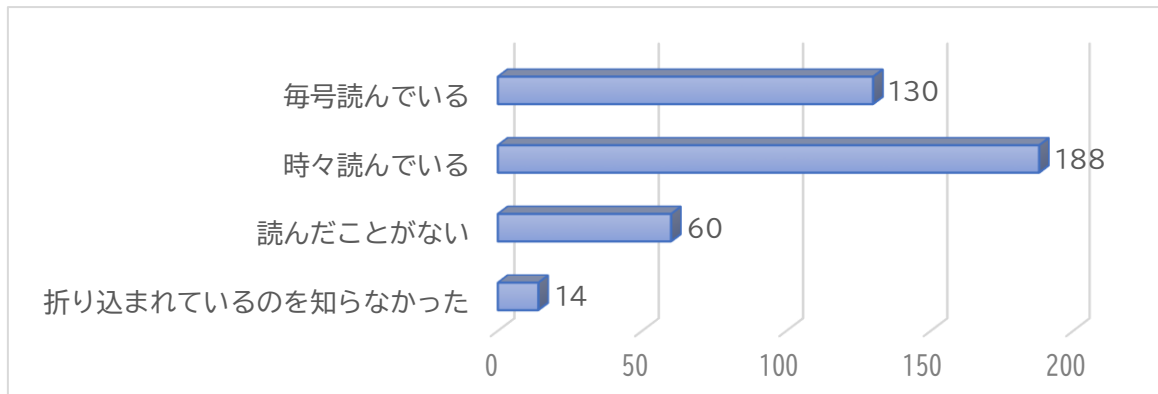
問 11 問 9 において「1 必要と考え、活動に参加している」又は「2 必要と考え、参加したいと思っている」を選択した方にお伺いいたします。今後どのようなボランティア活動に参加したいですか。



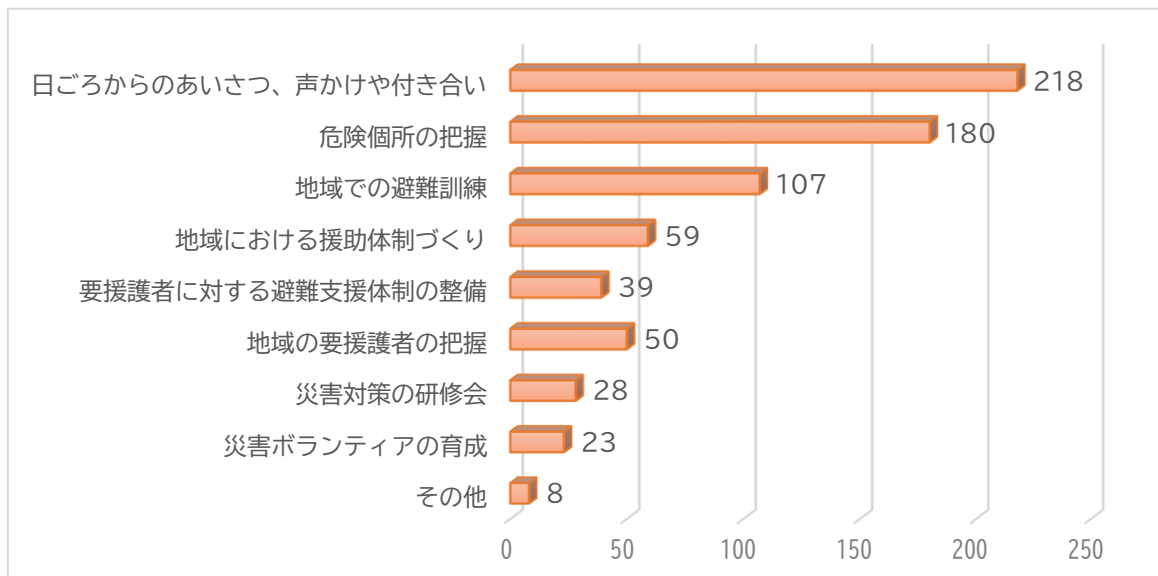
「その他」の意見

・防犯関係

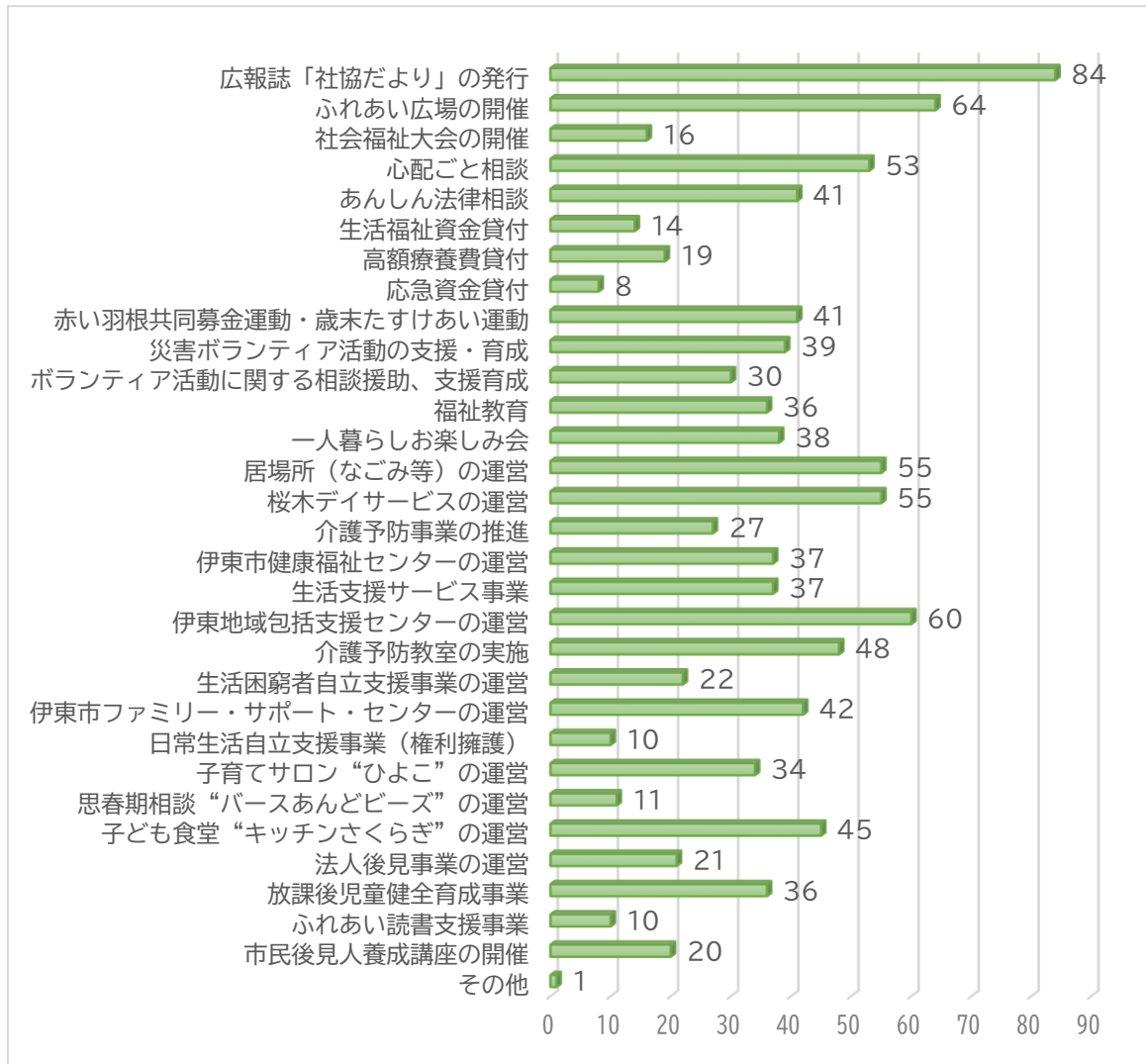
問 12 あなたは「広報いとう」に折り込まれている「社協だより」（9月、10月、12月、3月発行）を読んでいますか。



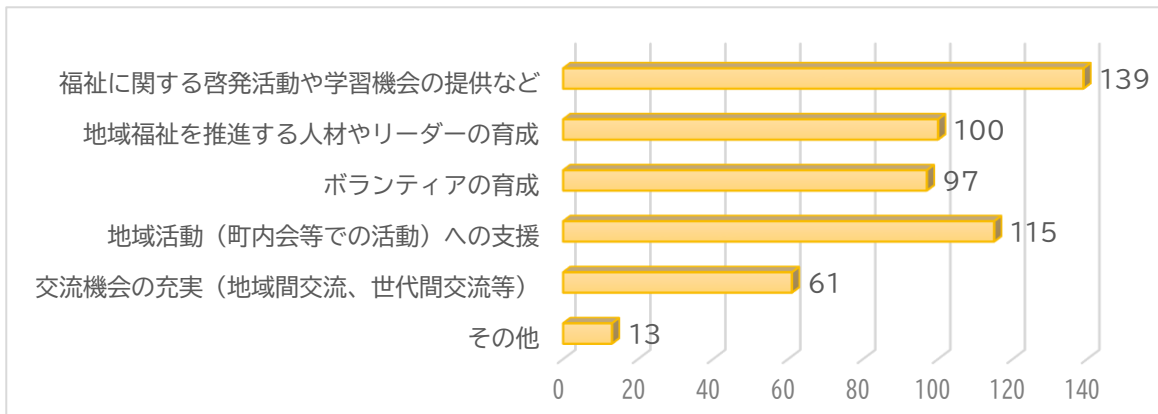
問 13 あなたが日ごろ災害時の備えとして、重要に考えていることは何ですか。



問 14 伊東市社会福祉協議会が運営する次の事業について、関心のあるものをお聞きます。



問 15 伊東市社会福祉協議会が力を入れるべき事業は何だと思いませんか。



「その他」の意見

・市民後見人の養成・生活弱者（ひとり親、障がい者、孤立老人等）への支援・災害対応・
職員のマナー

問 16 伊東市社会福祉協議会に対する要望・意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 社協職員が活発に活動いただきたい
- ・ 他市町村ではフードドライブが盛んですが、伊東市はどうですか？年1～2回新聞等で見かける程度ですが、あまり必要ではないのでしょうか？
- ・ 心配ごと相談は相談に行くのに場所が遠いし（近い人は行けるが…）、実際あまり来ていない。もう少し工夫する検討をしてほしい。
- ・ 生活支援ボランティア、市民後見人養成講座など開催するが、次の活動に結びつけられていない。受講した方たちの意欲を削ぐように見受けられる。
- ・ シニアプラザ湯川が伊東市社会福祉協議会とは知りませんでした。
- ・ 高齢者が楽しく暮らせるよう、色々な分野での活動支援を願います。
- ・ 湯川シニアの駐車場の木（桜、松）を切ってもらいたい。湯川シニアの駐車場が狭いので、子育て支援の駐車場が空いているときは使わせていただきたい。
- ・ 高齢者のことは沢山ありますが、子どもに関することはあまりないような気がします。
- ・ 何をされているかよくわからない人が多い。組織として何をするとところかわかる工夫を。
- ・ 子どもがいるので「ひよこ」をいつも利用させていただいています。規模が縮小（開く曜日）したようですが、今後も継続して利用させていただけるとありがたいです。
- ・ 高齢者の自立のためにも、コミュニティバスを考えてほしい。
- ・ 身寄りのない人の終末、死後の手続きのための支援
- ・ 各地区に社協の支部をつくる。
- ・ 子どもの成長に資する取り組みを期待しています。
- ・ みんな困っても相談する場所を知らないことが多く、窓口の周知は課題だと思う（老人だけでなく、精神疾患や障がいの人が利用できるものなどは特に…）。
- ・ 幅広い分野だと思いますが、子どもは社会の宝だと思うので、幸せに育ててほしいと願っています。
- ・ 湯川幼稚園で選挙期間になると、使用停止期間が一週間近くと長いため、そこを利用しているお年寄りから「長すぎてその間居場所がなくつまらない」とよく聞きます。せめて1～2日前位からにしてほしいです。
- ・ 各居場所運営者との交流やボランティア、サポーターに対しての助成
- ・ 縦割りをなくし、スムーズな交流
- ・ 障がい者の高齢化に伴い、家族への支援、独居老人たちの交流の場（孤立しないように）、老人と子供が接する機会が少なくなっているため、老人が子供を預かるような支援をしたらどうか。
- ・ 社協の存在すら知らない人もいないのでしょうか？
- ・ 各種行事、講座等も家から遠いと参加がおっくうになる。開催場所の分散、送迎など考えてほしい。
- ・ 社会福祉協議会の会長の話を聞いてみたいです。
- ・ 1階の水道を利用させてほしい（飲み水が欲しい）。
- ・ 高齢化社会に対する社協の役割は？

- ・ 地域参加はなるべくしなければと思いますが、どこまでできるかプライベートな部分もあり、その辺の距離感が難しく自分のやれる範囲かわからない。
- ・ 会合に出てこられる方々がもっと発言し、話し合う集いにしてほしい。行政サイドがいろいろという視点からプログラムを決めてるように見受けられるが、一方通行であること、もっと参加している方々が話題に参加できるようなプログラムにしていきたい。
- ・ 母子（父子）家庭への協力・支援
- ・ 墓じまいや空き家対策の支援、相談、一人暮らしになったときに必要に応じた転居の相談など。
- ・ 透明性のある活動に向けた組織改善
- ・ 社員の言葉遣いや態度、守秘義務など。また、会長はどのような役割をどのように決めているかを開示してほしい。
- ・ 都会の方では行われている「子育てママカフェ」みたいなものを伊東でもやってほしい（支援センター内で保育士に 30 分ほど子どもを預け、ママは別室でお茶やママ同士の交流やヨガ等）。
- ・ 児童の居場所づくりに取り組んでほしい。
- ・ 市民としてどのような支援が受けられるのかを具体的に知りたいです。
- ・ 日常生活自立支援事業や法人後見制度がもっと使いやすくスピーディーになると良いといつも思っております。
- ・ 誰もが利用しやすく参加しやすいボランティアの仕組みを作っていただけたらと思います。
- ・ どのような活動をしているのかあまり分かっていないので、私のような一人暮らしの人間も知っていただけたらと思います。
- ・ 放課後児童クラブへの支援をよろしくお願いします。
- ・ 高齢者に対する活動が主になっていると思う。高齢者も大切だと思いますが、子どもや子どもに携わる人たちの困り感や意見、要望を把握し、できるだけ早い段階で実行してほしい。（要望を出しても結局変わらないと思っている人がほとんどだと思う。）
- ・ 学童があることはとてもありがたいことですが、料金形態を見直して頂きたいです。子どもの人数が多い家庭には学童の費用がかなり負担になり、働いている意味がないです。保育園のように 2 人目は半額、3 人目は無料など考えて頂きたいです。東っこ学童のように学年ごとに金額を変えるとか検討をお願いします。
- ・ 学童さんには毎日お世話になっています。下校後宿題をする場所があり、友達と関われる場所があり、おやつを食べさせていただき感謝しかありません。
- ・ どういう組織なのでしょう。あまり知らない人も多いのでは？
- ・ これから年齢的にも色々お世話になるとは思いますが、自分自身も関心を持っていきたいです。

問 17 伊東市の福祉行政に求めるもの、期待する活動・事業はどういったものですか。また、今後住みよいまちづくり（地域福祉）を進めていくためのご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

- ・ 心を豊かにするための子ども育成は大切だと思います。生活が安定しなければ、助け合う心のゆとりはでないと思うので、まず、市民が安心して生活できるよう、市政の努力が必要だと考えます。
- ・ 子育て支援が充実すれば、少子化問題が少しでも良くなるのではないかと。
- ・ 民生委員の教育が必要。各委員の自覚に差がありすぎる。
- ・ 市民農園を作ってほしい。
- ・ 行政発信をたくさん行ってください。
- ・ 地域住民が気軽に参加できる交流型の学習の場を提供してほしい（参加してお得と感じるもの）。話を聞くだけでは苦痛、つまらない。
- ・ 子どもが楽しく過ごせるような場所を考えてほしいです。
- ・ 行政の前向きで強力なリーダーシップを期待
- ・ 何をやるにも人材が不足している気がします。人手を増やす取り組みが今後より必要ではないでしょうか？
- ・ ボランティア、サポーターとの交流、協力など
- ・ みんなで拾い上げ、すくい上げる努力。一人を大切にできること。
- ・ 障がい者（成人）に対するガイドヘルパーの養成
- ・ 年齢関係なく楽しめるイベント
- ・ 交通費を必要とすることが多いので、バス代を無料にしてもらいたい。
- ・ 鎌田幼稚園など使用されていない場所を老人、子供の居場所として考えてほしい。
- ・ 1行や2行では語れない問題ばかりでしょう。
- ・ 引きこもりの人は何がきっかけで外に出てくれるのか。家族の理解を得るよう働きかけることが必要と思われる。
- ・ 色々なことを広報などで広めてほしい。孫たちと色々参加したいと思います。
- ・ 老人が多くなるので、老人のための色々なことを計画してほしい。
- ・ 専門家が知識を笠にやろうとする内容ではなく、参加する高齢者のモチベーションが上がるやり方を工夫してほしい。
- ・ 母子（父子）家庭への協力・支援
- ・ 無縁社会、相談者のいない人たちが騙されたり途方に暮れたときに相談できる機関のようなもの。
- ・ 子育てサロンひよこの実施日が少なくなってしまい残念です。日曜日など未就園児以外の兄弟、友人と一緒にいけるようになるとういなと思います。
- ・ 自分が退職して時間ができたら毎日外に出ることが大切だと痛感しています。そういう人の力を埋もれさせないように生きがいと共に自分の衰え防止強化が必要と考えます。
- ・ 若い人（中高生）の参加、協力、関心を持ってもらいたい。
- ・ 各スポーツクラブの交流会等のイベントの開催

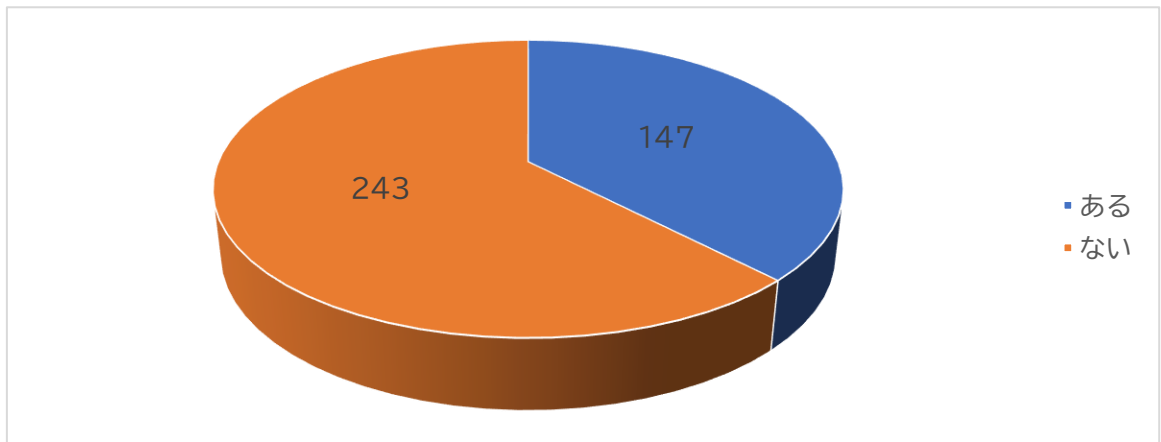
- ・ 空地、空き家をなくす取組
- ・ 子育ての援助や高齢者と社会のかかわり方や諸事の対応
- ・ 都会の方では行われている「子育てママカフェ」みたいなものを伊東でもやってほしい（支援センター内で保育士に 30 分ほど子どもを預け、ママは別室でお茶やママ同士の交流やヨガ等）。
- ・ 声かけがあってもいいかと思う。
- ・ 子育て支援の環境づくりに力を入れてほしい。
- ・ 「福祉」を他人事ではなく自分の事として考えることが大事だと思います。福祉教育を通して子供や親の関心が増すような取組が必要ではないでしょうか。
- ・ 独居高齢者のための移動支援（受診、買い物等）の充実は早急に取り組むべき課題だと思います。
- ・ ワンストップの相談窓口を設けてほしい。
- ・ 子育てしやすい街になったらいいなと思います。
- ・ 体操教室に参加しているが、週 2 回くらいになると忘れないで家でも練習できるので、2 回を希望します。

2 高校生アンケート

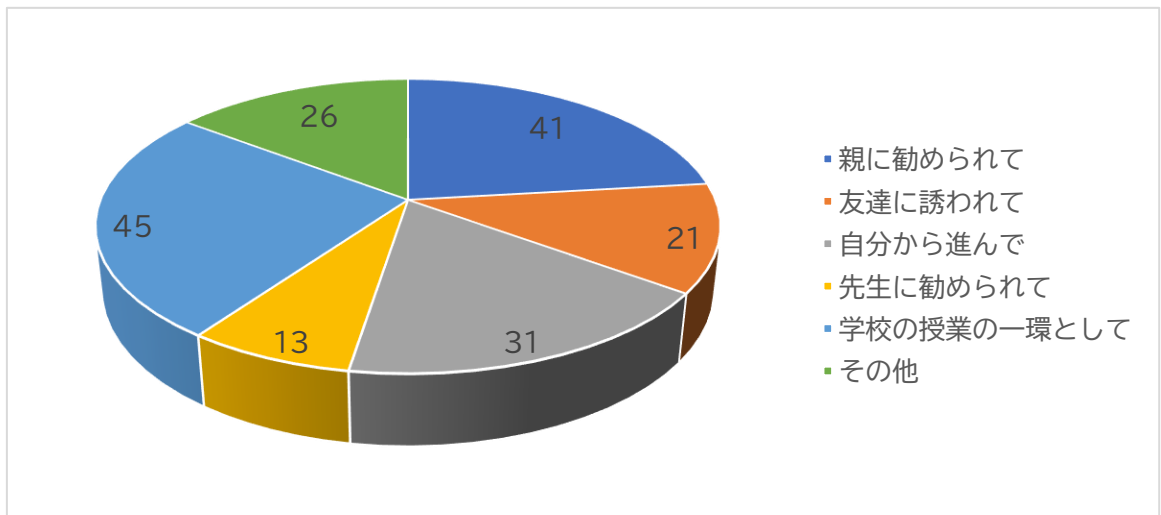
調査対象	伊豆伊東高校 2 年生及び 3 年生（令和 5 年 6 月実施）
回答数	2 年生 192 人・3 年生 198 人

ボランティア活動についてお聞きします

問1 あなたはボランティア活動をしたことがありますか？



問2 問1で「ある」と答えた人にお聞きします。きっかけは何ですか？

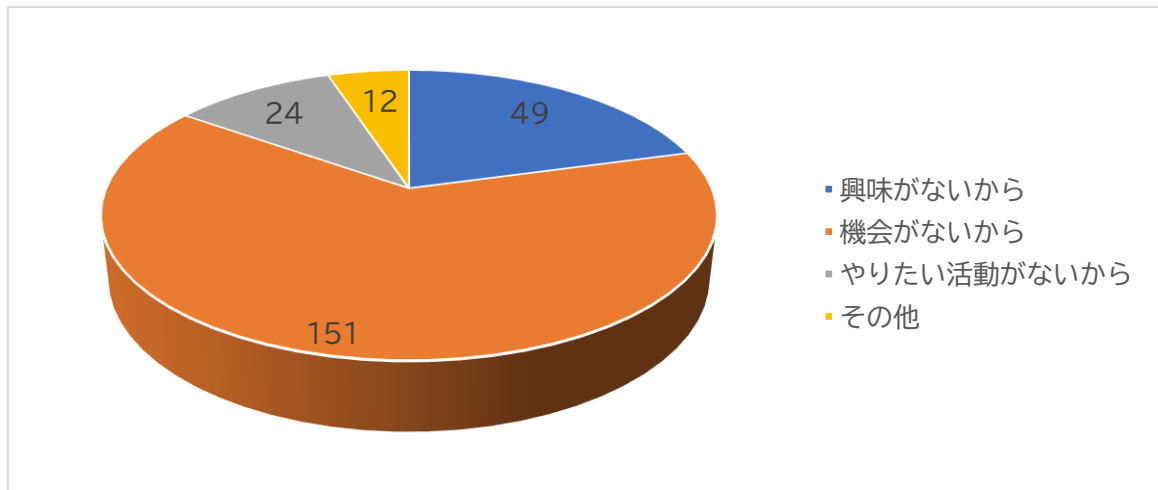


問3 問1で「ある」と答えた人にお聞きします。あなたが体験したボランティア活動は何ですか？

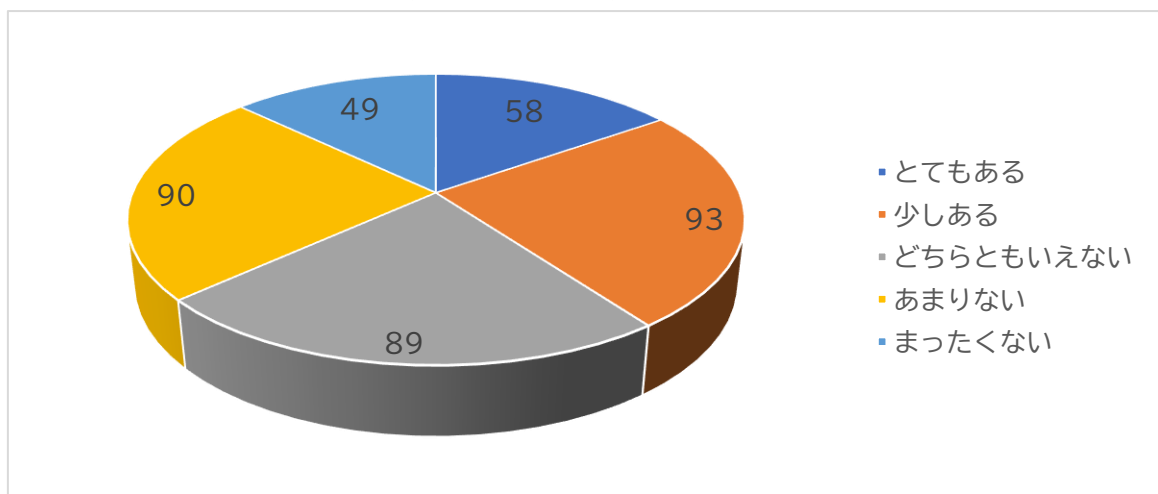
また、今後体験してみたいボランティア活動はありますか？

体験した活動	地域の清掃、海（海岸）の清掃、介護・福祉施設での体験活動、保育園・幼稚園での体験活動、トライアスロン大会、募金、あいさつ運動、災害ボランティア、地域の伝統行事継承、草刈り、シャッターアート、花壇の整備、神社清掃、老人ホームの生け花、ふるさと教室、廃品回収、一碧湖のゴミ拾い、地域イベント、たけのこ採り PC プログラミング、国際交流フェスタ、学童の手伝い、夢チャレンジクラブ、献血活動、図書館での手伝い、ふれあい学習活動、按針像磨き、特別支援の手伝い
今後、体験してみたい活動	地域の清掃、手話、介護体験、観光ボランティア、観光イベント、読み聞かせ、災害ボランティア、災害派遣、国際交流フェスタ

問4 問1で「ない」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか？

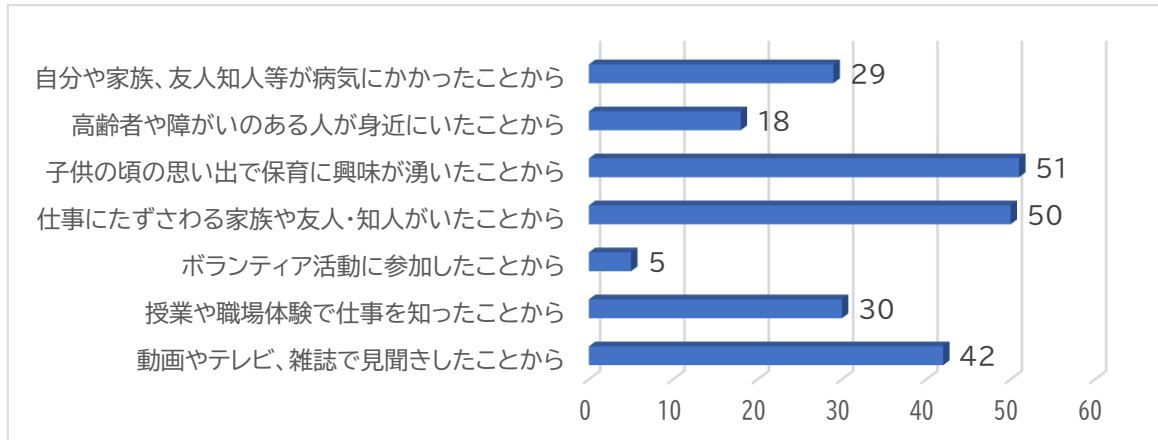


問5 あなたは「医療」「福祉（介護・障害福祉）」「保育」の仕事に関心はありますか？

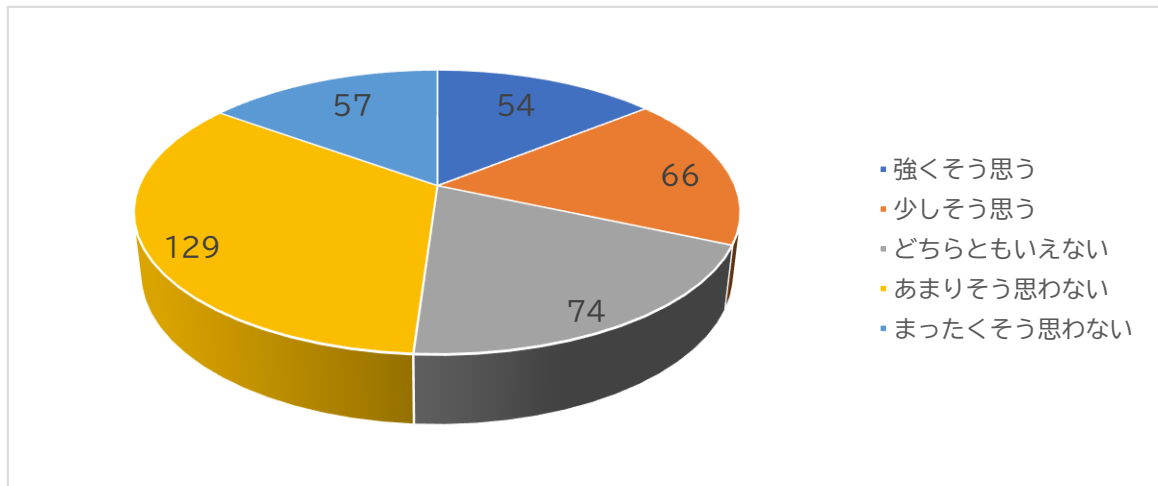


問6 問5で「とてもある」「少しある」と答えた人にお聞きします。

「医療・福祉・保育」の仕事に関心を持ったきっかけは何ですか？

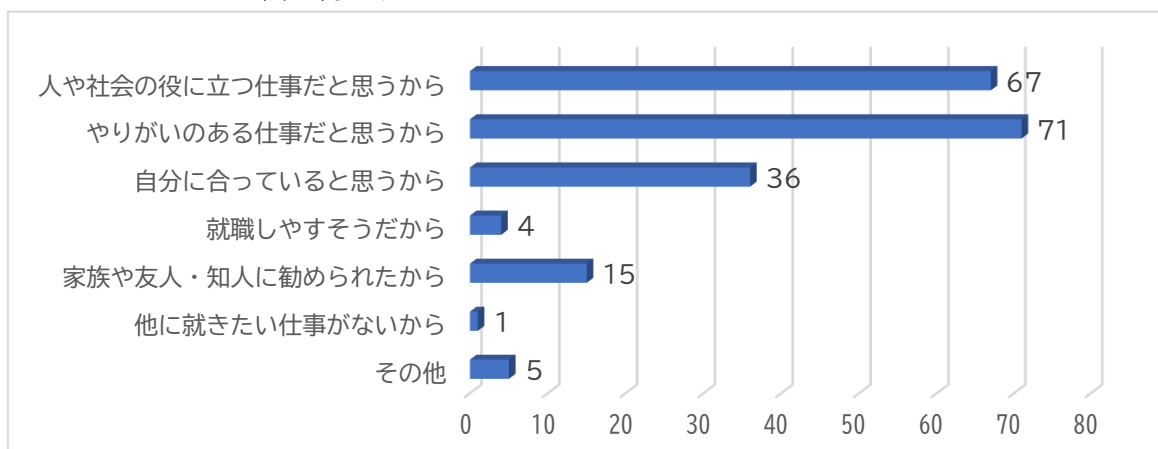


問7 あなたは「医療・福祉・保育」に関する仕事をしたいと思えますか？



問8 問7で「強くそう思う」「少しそう思う」と答えた人にお聞きします。

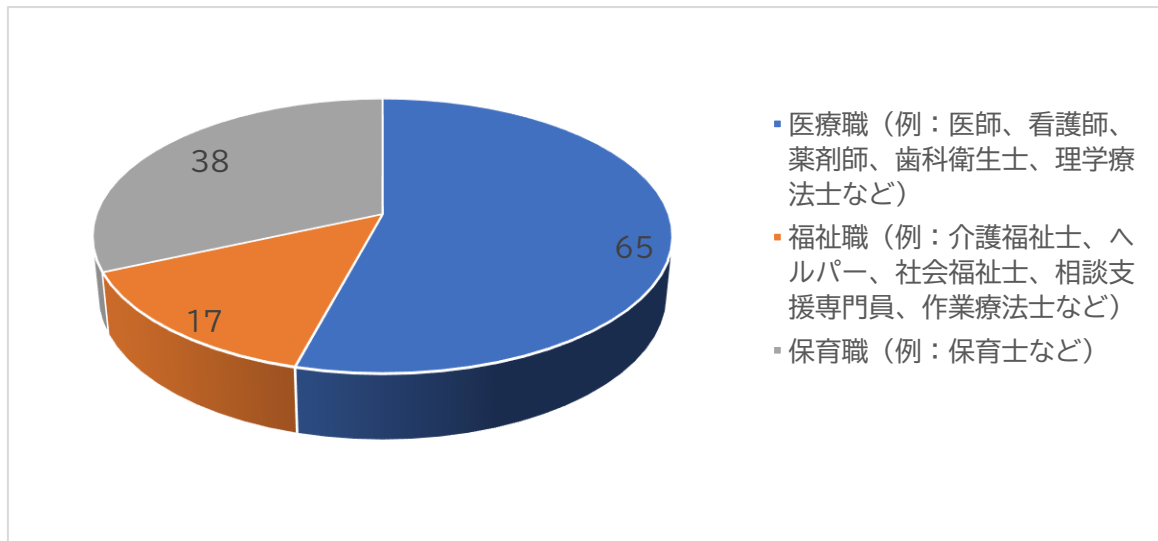
そう思った理由は何ですか？



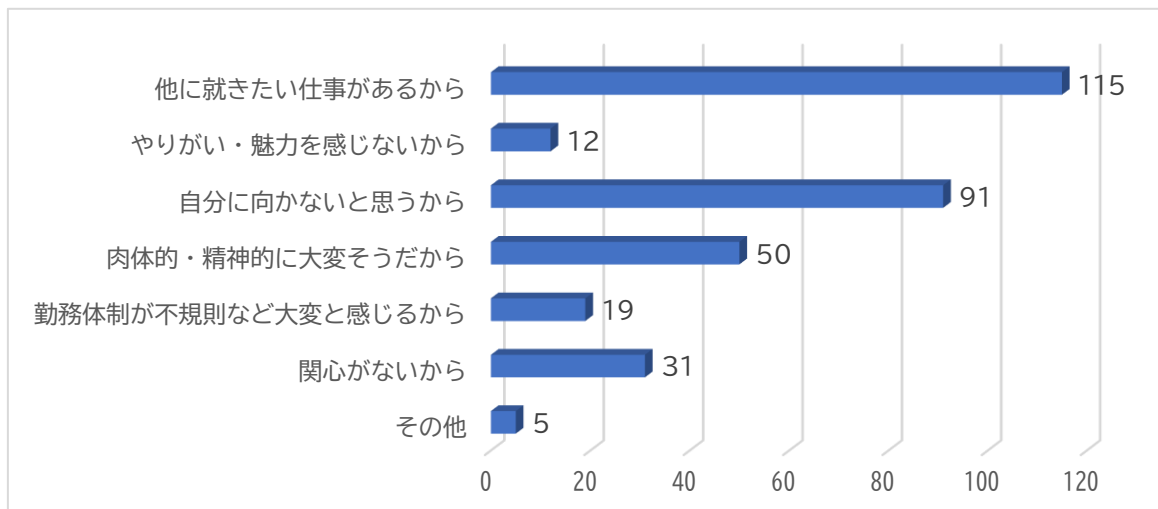
「その他」の意見

子供が好きだから、保育園の先生がすごく優しかったから

問9 問7で「強くそう思う」「少しそう思う」と答えた人にお聞きします。
働きたいと思う職種は何ですか？



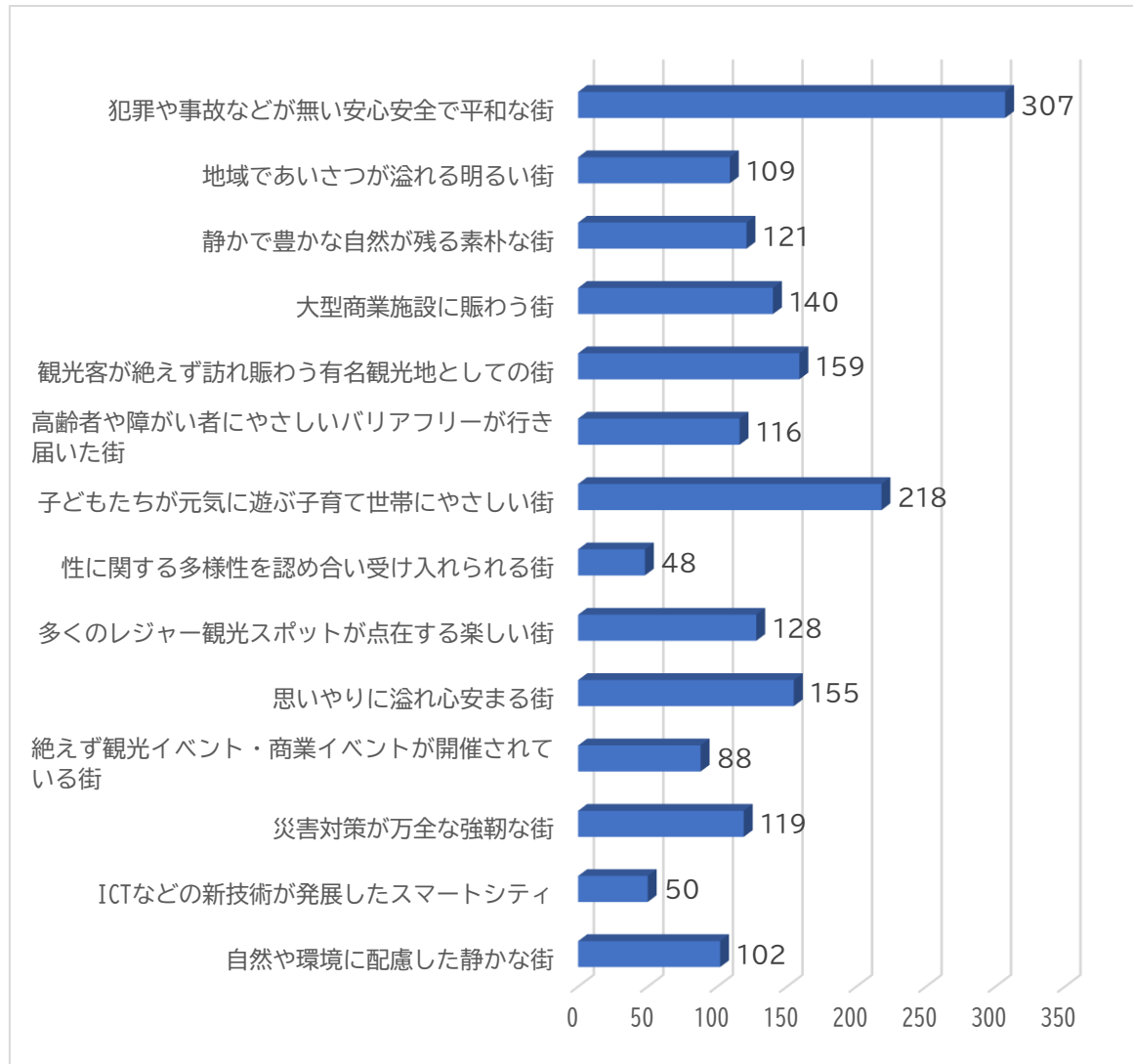
問10 問7で「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と答えた人にお聞きします。
そう思った理由は何ですか？



「その他」の意見

将来の夢は決まっているから、上下関係が厳しいと聞いたから、給料が安い、命は預かれない、奥が深いため

問 11 あなたは、伊東市がどんな「まち」になったら良いと思いますか？また、どんな「まち」であってほしいと思いますか？



3 市民満足度調査抜粋

◇ 伊東市のまちづくりに対する「満足度」・「重要度」について

問4 市が行っている取組について、どのくらい満足していますか。（回答は1つ）
 （「満足」「おおむね満足」「やや満足」「やや不満」「かなり不満」「不満」の6段階にて評価）

項目	令和5年度		令和4年度		
	満足度※	順位	満足度※	増減	順位
1 危機管理体制の充実（自然災害等からの危機管理体制）	64.5%	11	58.0%	6.5	23
2 総合治水対策の強化（水害や土砂災害対策等）	60.3%	23	64.6%	-4.3	12
3 災害に強い建築物や公共施設の整備（耐震性等の安全性の確保）	56.8%	31	—	—	
4 生活安全の推進	75.3%	2	63.6%	11.7	15
5 消防・救急体制の強化	74.9%	5	74.6%	0.3	3
6 地域医療の充実	53.8%	32	46.4%	7.4	35
7 健康づくり支援	75.3%	2	65.7%	9.6	10
8 出産・子育て支援の充実	57.1%	30	53.0%	4.1	31
9 保育及び幼児教育の充実	60.8%	21	—	—	
10 高齢者福祉の充実	61.9%	17	60.4%	1.5	22
11 障がい者福祉の充実	66.3%	9	63.9%	2.4	14
12 地域内の助け合いなどの地域福祉の充実	64.1%	13	62.4%	1.7	19
13 お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現	62.0%	16	54.6%	7.4	29
14 自然との共生社会の推進	71.9%	6	61.9%	10.0	20
15 循環型社会の推進	63.4%	15	77.2%	-13.8	2
16 生活排水対策の充実	61.9%	17	62.8%	-0.9	16
17 安全でおいしい水の安定供給	85.4%	1	86.7%	-1.3	1
18 海岸・高原・住宅地及び市街地の街並みなどの良好な景観の形成	59.5%	25	54.2%	5.3	30
19 バス・鉄道などの公共交通対策の充実	30.1%	41	33.6%	-3.5	43
20 道路環境の整備	41.8%	39	44.4%	-2.6	39
21 教育環境の整備	58.6%	29	68.5%	-9.9	8
22 未来を創る教育の充実（小・中学校）	53.2%	33	68.4%	-15.2	9
23 生涯学習活動の推進	61.4%	20	69.4%	-8.0	6
24 青少年の健全な育成	64.2%	12	62.5%	1.7	18
25 市民スポーツ活動の支援	68.2%	7	68.7%	-0.5	7
26 芸術・文化に触れる機会の充実	61.9%	17	57.8%	4.1	25
27 史跡・郷土芸能の保存	75.0%	4	70.7%	4.3	5
28 郷土愛の醸成	65.6%	10	—	—	
29 観光の振興	48.3%	34	47.6%	0.7	34
30 広域連携による誘客の拡充	47.5%	36	44.6%	2.9	38
31 商工業の振興	41.8%	39	42.8%	-1.0	41
32 農林業の振興	59.3%	28	45.1%	14.2	37
33 水産業の振興	63.9%	14	52.8%	11.1	32
34 移住定住の促進・関係人口の拡大	46.2%	37	—	—	
35 国際交流機会の充実	59.5%	25	65.4%	-5.9	11
36 市民の声をうかがう機会の充実	46.0%	38	46.0%	0.0	36
37 市民活動などの地域活動の推進	59.8%	24	57.9%	1.9	24
38 男女共同参画社会の推進	60.8%	21	56.4%	4.4	26
39 市民に対する市職員の対応	67.6%	8	64.2%	3.4	13
40 市の財政の健全な運営	47.6%	35	49.4%	-1.8	33
41 市からの情報提供	59.4%	27	55.5%	3.9	27

※「満足度」は、「満足」「おおむね満足」「やや満足」と答えた人の割合

※質問項目3、28、34は、令和5年度から新たに追加したため令和4年度はデータ無し

※質問項目9は、令和4年度までの設問を統合したため、データ無し

問4 市が行っている取組について、どのくらい重要だと思いますか。（回答は1つ）
 （「重要」「やや重要」「あまり重要でない」「重要でない」の4段階にて評価）

項目	令和5年度		令和4年度			
	重要度※	順位	需要度※	増減	順位	
1	危機管理体制の充実（自然災害等からの危機管理体制）	98.2%	1	98.4%	-0.2	1
2	総合治水対策の強化（水害や土砂災害対策等）	97.6%	3	93.3%	4.3	13
3	災害に強い建築物や公共施設の整備（耐震性等の安全性の確保）	94.5%	10	—	—	
4	生活安全の推進	96.4%	7	94.8%	1.6	8
5	消防・救急体制の強化	97.9%	2	96.9%	1.0	3
6	地域医療の充実	96.9%	6	97.9%	-1.0	2
7	健康づくり支援	83.2%	32	90.7%	-7.5	25
8	出産・子育て支援の充実	91.9%	19	92.8%	-0.9	15
9	保育及び幼児教育の充実	90.7%	24	—	—	
10	高齢者福祉の充実	90.9%	22	91.8%	-0.9	21
11	障がい者福祉の充実	91.5%	21	92.1%	-0.6	17
12	地域内の助け合いなどの地域福祉の充実	86.2%	29	85.5%	0.7	34
13	お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現	78.4%	36	83.4%	-5.0	36
14	自然との共生社会の推進	84.4%	31	93.6%	-9.2	12
15	循環型社会の推進	89.7%	26	95.1%	-5.4	6
16	生活排水対策の充実	93.5%	12	95.0%	-1.5	7
17	安全でおいしい水の安定供給	97.0%	5	95.4%	1.6	5
18	海岸・高原・住宅地及び市街地の街並みなどの良好な景観の形成	86.6%	28	86.9%	-0.3	31
19	バス・鉄道などの公共交通対策の充実	94.6%	9	93.9%	0.7	11
20	道路環境の整備	94.2%	11	94.5%	-0.3	10
21	教育環境の整備	93.3%	13	91.9%	1.4	20
22	未来を創る教育の充実（小・中学校）	93.2%	14	91.6%	1.6	23
23	生涯学習活動の推進	82.0%	33	76.8%	5.2	40
24	青少年の健全な育成	90.8%	23	87.4%	3.4	30
25	市民スポーツ活動の支援	71.9%	40	71.6%	0.3	43
26	芸術・文化に触れる機会の充実	75.5%	38	73.1%	2.4	42
27	史跡・郷土芸能の保存	80.9%	34	76.7%	4.2	41
28	郷土愛の醸成	75.3%	39	—	—	
29	観光の振興	92.3%	16	92.1%	0.2	17
30	広域連携による誘客の拡充	88.0%	27	84.9%	3.1	35
31	商工業の振興	92.2%	18	88.9%	3.3	28
32	農林業の振興	89.8%	25	87.6%	2.2	29
33	水産業の振興	92.3%	16	92.1%	0.2	17
34	移住定住の促進・関係人口の拡大	86.0%	30	—	—	
35	国際交流機会の充実	70.6%	41	66.8%	3.8	44
36	市民の声をうかがう機会の充実	93.2%	14	91.3%	1.9	24
37	市民活動などの地域活動の推進	79.1%	35	82.0%	-2.9	37
38	男女共同参画社会の推進	78.2%	37	78.3%	-0.1	39
39	市民に対する市職員の対応	91.6%	20	89.5%	2.1	27
40	市の財政の健全な運営	97.6%	3	96.5%	1.1	4
41	市からの情報提供	96.2%	8	94.7%	1.5	9

※「重要度」は、「重要」「やや重要」と評価した人の割合

※質問項目3、28、34は、令和5年度から新たに追加したため令和4年度はデータ無し

※質問項目9は、令和4年度までの設問を統合したため、データ無し

4 策定経過

(1) 計画策定までの流れ

実施期間	実施内容
令和5年3月～4月	計画策定に向けた社会福祉協議会との事前協議
令和5年5月～6月	地域福祉計画策定のための市民アンケート・高校生アンケートの実施
令和5年7月6日	庁内関係課との協議
令和5年9月6日	第1回 策定委員会
令和5年9月25日	第1回 市民懇話会
令和5年10月18日	第2回 市民懇話会
令和5年11月20日	第3回 市民懇話会
令和5年12月21日	第2回 策定委員会
令和5年12月28日～ 令和6年1月29日	パブリックコメントによる意見募集
令和6年2月6日	パブリックコメントの結果報告
令和6年3月	第4次伊東市地域福祉計画策定

(2) 第4次伊東市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定市民懇話会 委員名簿

役職	氏名	所属団体・組織名等
会長	高橋 祥仁	伊東市民生委員児童委員協議会
副会長	大川美津江	伊東市ボランティア協会
委員	露木 義則	伊東市社会福祉協議会
委員	中川 道子	伊東市女性連盟
委員	真鍋 洋子	伊東市手をつなぐ育成会
委員	平澤 幸子	社会福祉法人伊東つくし会
委員	山口 弘文	社会福祉法人城ヶ崎いこいの里
委員	瀧 朱美	社会福祉法人クープ
委員	工藤 和正	有限会社悠悠
委員	山下 静代	公募

(3) 第4次伊東市地域福祉計画策定委員会 委員名簿

役職	所属	氏名
委員長	健康福祉部長	松下 義己
副委員長	企画課長	菊地 貴臣
委員	社会福祉課長	石川 秀大
委員	高齢者福祉課長	齋藤 修
委員	子育て支援課長	石井 弘樹
委員	健康推進課長	大川 貴生
委員	幼児教育課長	鈴木 慎一

(4) その他

作業部会員					
課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
企画課	課長補佐	鈴木 綾子	子育て支援課	係長	佐藤 美樹
社会福祉課	課長補佐	稲葉 豊彦	健康推進課	課長補佐	富岡 明浩
社会福祉課	課長補佐	秋山 泰徳	健康推進課	主幹	稲葉 淳子
高齢者福祉課	課長補佐	有田 和弘	幼児教育課	課長補佐	青木 美月
子育て支援課	課長補佐	庄子 高弘			
事務局					
社会福祉課	課長	石川 秀大	社会福祉課	主幹	小嶋さつき
社会福祉課	課長補佐	日吉 朋也			

第4次伊東市地域福祉計画 第4次伊東市地域福祉活動計画

発行：伊東市健康福祉部社会福祉課

社会福祉法人伊東市社会福祉協議会

編集：伊東市健康福祉部社会福祉課

〒414-8555 静岡県伊東市大原二丁目1番1号 TEL：0557-32-1531

社会福祉法人伊東市社会福祉協議会

〒414-0013 静岡県伊東市桜木町二丁目2番3号 TEL：0557-36-5512

発行年月：令和6年3月